

被爆者とともに、核兵器のない未来へ

原水爆禁止2026年世界大会 in 広島に みみはらグループ22名が参加



約3,500人が参加した開会総会。
核兵器のない平和な世界を願い、参加者が思いを一つにしました。

81回を迎えた原水禁世界大会に参加して

8月4日から6日まで、広島市で「原水爆禁止2026年世界大会 in 広島」が開催され、みみはらグループから22名が参加しました。

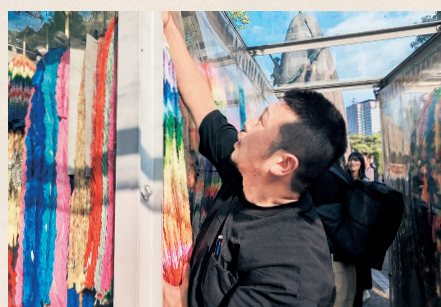
今年の大会は「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに開催されました。開会総会には約2,500人、閉会総会には約3,500人が集まり、核兵器のない世界と平和を願う多くの人々が

広島に集いました。

参加者は開会総会、各種分科会、閉会総会に参加するとともに、原爆ドームや広島平和記念資料館を訪れ、被爆の実相や戦争の悲惨さ、平和の大切さについて学びました。実際に広島を訪れ、資料や展示に触れることで、過去の出来事を決して風化させてはいけないという思いを新たにしました。

また、みみはらグループ職員が

ら託された折り鶴、タペストリーを持参し、そこに込められた平和への願いを、広島に届けました。



みみはらグループ団長が平和の想いが詰まった折り鶴を広島に奉納しました。



原爆の子の像の前で、みみはらグループ参加者22名。
平和への願いを胸に、3日間の学びに参加しました。



平和を願い、夜の広島に集う参加者。色とりどりの光とともに、
核兵器のない世界への願いを届けました。



原水爆禁止2026年世界大会 参加者の声

01

世界各国から講演や来賓で多くの方が来られました。唯一の被爆国である日本の出来事を世界規模で考えられており、保有国、非保有国問わずにその悲惨さや非人道的さゆえの核兵器撤廃は強い世界共通の課題であることを再認識させられました。

2日目の分科会では、気候危機・エネルギーと原発の勉強をしましたが、最も衝撃的だったのは、再生エネルギーで日本の電力供給を100%賄えるという内容でした。日本は火山が多く、地熱エネルギーが多量にあること、電力の地産地消で全て賄えるということに非常に感銘を受けました。環境保全のため、国をあげて地球環境に本気で取り組んでいかないと強くなりました。

私自身、沖縄や海が大好きでここ数年のサンゴ礁の白化について実際に目にして悲壮感を持っていました。これ以上の環境破壊、マイクロプラスチックによる水質汚染など、国をあげて取り組んでいく課題は山ほどあると感じています。（臨床検査技師）

02

事前学習で、平和とは何かということを目で見て知ることが大切だと感じ、そこを意識していた。MSW(医療ソーシャルワーカー)として被爆者健康手帳を持った方と出会ったこともあり、被爆するということを目で知ることが大切だと感じ、そこを意識していた。

呉基地調査行動で説明して下さった方の1人が被爆2世で、その母がABCC(原爆傷害調査委員会)によって「2回焼かれた」と言っていたことを知り、原爆だけでなく、その後の米軍による調査でもトラウマを植え付けられたことを知った。被爆者が、原爆の被害だけでなく、放射線障害によるつらさ、ABCC、トラウマを思い出す作業などにより、二重にも、三重にも辛い経験をしてきたことがわかった。第三の被爆地をつくってはいけない、核兵器の廃絶の重要性を感じた。

呉基地調査行動で説明して下さった方の1人が被爆2世で、その母がABCC(原爆傷害調査委員会)によって「2回焼かれた」と言っていたことを知り、原爆だけでなく、その後の米軍による調査でもトラウマを植え付けられたことを知った。被爆者が、原爆の被害だけでなく、放射線障害によるつらさ、ABCC、トラウマを思い出す作業などにより、二重にも、三重にも辛い経験をしてきたことがわかった。第三の被爆地をつくってはいけない、核兵器の廃絶の重要性を感じた。

原水禁参加を通して、平和を守るということは戦争をしない、原爆を2度と使わないということだと改めて感じた。まず私にできることは今回得た知識を周りに伝えることと、正しい知識をつけていくことだと思う。これからも平和を守るために行動していきたい。（MSW）

03

被爆者の方々から実際の体験談を聞くこと

で、原子爆弾がもたらした被害の大きさや、戦争が人々の人生に与えた深い傷について改めて学ぶことができた。特に、被爆者の方々が高齢化している現状を知り、これまで被爆体験を語ってきた方々が少なくなっていく中で、私たちの世代がその記憶を受け継ぎ、次の世代へ伝えていく必要があると感じた。

一方で、戦争や被爆を実際に体験していない私たちが、その当時の恐怖や悲惨さを十分に伝えることには難しさがあると感じた。実際に体験した方だからこそ伝えられる言葉や、その場の雰囲気があり、それを同じように伝えることはできない。しかし、だからこそ、被爆者の方々の証言を記録として残したり、映像や写真、資料などを活用したりするなど、工夫しながら伝えていくことが、私たちの世代の課題だと思う。

また、日本是世界で唯一の被爆国であるからこそ、被爆者の思いや体験を国内だけでなく世界に発信し、核兵器の廃絶を訴えていく役割があると感じた。

（看護師）

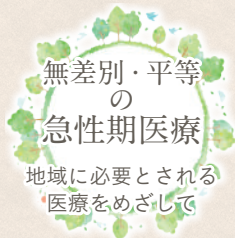
最後に

今回の大会への参加を通して、平和は決して当たり前にあるものではなく、一人ひとりが考え、行動することによって守っていくものだと感じました。医療・福祉に携わる私たちにとって、すべての人のいのちとくらしを守ることの大切さを改めて考える3日間となりました。今回学んだことや感じたことを、それぞれの職場で広め、考える仲間を増やしていきたいと思います。

事務局 松岡 真紀

会場を彩る、全国から寄せられた平和への願い。





その11

「受けやすく」「受けたあとも」進化中
鎮静内視鏡が受けやすく、保健指導で健康づくりに伴走



鎮静内視鏡が受けやすく

2026年6月 内視鏡室移転・拡充

- 検査室・ベッド数を増強
- 最新の内視鏡機器を導入
- リカバリー室を整備



鎮静(眠った状態)の
胃カメラ枠が増枠

予約が取りやすく

連載でお伝えしてきた健診センターの移転は2028年春ですが、今回は、移転を待たずに進む二つの取り組みをご紹介します。

一つは、鎮静内視鏡の受けやすさです。2026年6月、内視鏡室が移転・拡充されました。検査室が増え、最新の内視鏡機器を導入。検査後にゆっくり休めるリカバリースペースも大幅に拡充しました。これにより、鎮静状態で受けられる胃カメラの検査枠が増え「つらい検査は苦手」という方も、以前より予約が取りやすくなっています。



保健指導で健康づくりに伴走

保健師・看護師が対応

- 結果の見方・数値のご相談
- 生活習慣の改善と一緒に
- 受診後のフォローに対応



「受けて終わり」にしない
継続的な健康サポート

次の一年の健康づくりへ

もう一つは、保健指導体制の強化です。保健指導とは、健診結果をもとに生活習慣の改善と一緒に考えるサポートのこと。当センターでは保健師・看護師が、受診後も気になる数値の相談やその後のフォローに対応します。「受けて終わり」にせず、皆様の健康づくりに伴走します。

まずは年に一度の健診を。お気軽にご予約ください。

耳原総合病院 健診課担当
事務次長 端 伸一郎

受診にあたって

お問い合わせ・ご予約 耳原総合病院 健診センター

【お電話】フリーダイヤル 0120-867-250

【受付時間】平日 9:00～15:00 / 土曜 9:00～12:00

【インターネット】ホームページの予約フォームから24時間お申し込みいただけます

HPは
コチラ↓

ふしぎな音符で遊びました！ みみっぱシンフォニーDAY

夏休みに入った7月20日の海の日、こどもさんを中心に40人ほど多世代が集まり、地域コミュニティ棟みみっぱのアートウォールの模様替えと、『オクトパスと宇宙人の恋物語』というふしぎな音楽を奏でるひと時を過ごしました。

みみっぱオープン時にもアートワークショップで来ていただいた美術家の井上信太さんとみなさんで1年前に貼ったマグネットを外し、新たな五線譜に形を思い思いにはります。それを信太さんのコンダクトによって歌詞と曲にしていき、選んだ楽器でリズムを取ったり、歌ったり。まさしく「ふしぎな音ぷ」で「自分らしい音」を奏で、合奏をしました。最後はみみっぱ中央の柱に、マグ

ネットをみなさんで一気に貼り上げ、色彩と形のシンフォニーが響きました。

合間にお菓子を食べて休憩をとりながら交流のひと時に。医療や福祉のイベントや近くでこんな相談会がありますよ、というお知らせも持って帰っていただきました。楽しいコトが、健康につながるイベントをまた企画しますので、一緒に遊びましょう！

(耳原アートリンクセンター)





住み慣れたこの街で 自分らしく暮らし 続けるために



みみはら在宅クリニックでは、通院が難しい方の「住み慣れたこの街で、自分らしく暮らし続けた」という願いに応え、医師と看護師がご自宅を訪問して診療を行っています。日々の暮らしの場に何うからこそ、患者さんの生活のリズムや大切にしていることを尊重し、安心してその人らしい生活を続けられるよう支援します。

みみはらグループには、医療・介護事業所をはじめ、薬局や高齢者施設などがあります。訪問看護師や薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーなどとも連携し、病状だけでなく、日々の生活やご家族の状況にも目を向けながら、チームで必要な支援を考えます。ご自宅での

療養生活を続けられるよう、必要なサービスにつなげていきます。

急な発熱や息苦しさなど、体調に変化があったときにも24時間365日相談できる体制を整えています。入院が必要になった場合には、耳原総合病院をはじめとする医療機関と連携し、必要な治療につなげます。

がんによる痛みや息苦しさなどのつらい症状を和らげる緩和ケアにも取り組んでいます。人生の最期を迎える時期にも、ご本人の希望やご家族の思いを大切にしながら、できる

限り住み慣れたご自宅で穏やかに過ごせるよう支援します。

また、人工呼吸器や在宅酸素、胃ろう、中心静脈栄養など、医療的なケアが必要な方にも、医師・看護師・介護職が連携し、安全に療養生活を送れるようサポートします。

経済的な理由で受診をためらうことがないよう、無料低額診療事業にも取り組んでいます。医療や介護、療養生活について心配なことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



📞 お問い合わせ：みみはら在宅クリニック 072-241-0691

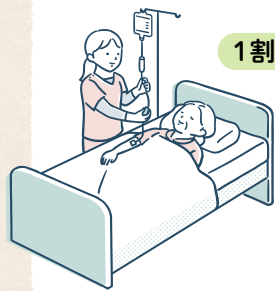
定期的な訪問診療の料金 //

1割負担の場合 約7,000円/月 3割負担の場合 約21,000円/月

※採血・点滴など実施すれば料金がプラスされます。

在宅医療でできること //

- 在宅酸素管理
- 看 取 り
- 輸 血
- 腹水穿刺
- 胃 ろ う 管 理
- 人工呼吸器管理
- 尿道バルンの管理
- など



第3回みみプラザ 堺の健康みんなで耕すシリーズ

堺の歴史を知れば まちがもっと見えてくる



今回は「堺の歴史にふれる」をテーマに、堺の歴史をたどりながら、このまちや地域の文化について一緒に考えます。

前半は耳原総合病院 今井医師(外科)より「戦国時代×堺」を。後半は健康友の会みみはら鳳支部

代表世話人の石田さんより、身近な地名や歴史についてご紹介。「この歴史からこんな地名が！」と改めて堺の魅力に気付くかもしれません。

スイーツもご用意していますので、お気軽にお越しください。

日時:10月8日(木) 参加:無料

【お話の部】17:45~19:15

【交流の部】19:30~20:30

場所:地域コミュニティ棟 みみっば

堺市堺区大仙西町6丁-176

主催:耳原総合病院 教育学習運営会議

問合せ:072-241-0501(代表)
総務課 秋山

申込:QRコードから(9月30日〆切)





耳原総合病院

TEL 072-241-0501 (代) FAX 072-244-3577

診療時間はHPからご確認ください▶▶▶



診療科 ※詳しくはHPをご覧ください

内科 小児科 ※専門外来

午前 ▶ 9:00~11:30(受付8:30~) 午後 ▶ 14:00~16:00(予約制)
夜間 ▶ 17:30~19:00(予約制)

- 内科疾患で紹介状をお持ちの方は総合診療センターでお受けします。
- 紹介状をお持ちでない方は、みみはら高砂クリニックやお近くの内科開業医を受診願います。緊急・救急時のER(救急外来)は、24時間365日対応しています。受診前にお電話をお願いします。
- 小児科一般診療はみみはら高砂クリニックで受診してください(午前のみ・完全予約制)。
- 小児科は緊急時(診療・検査・入院など)と紹介患者さんのみお受け入れしています。

その他 詳しい情報はHPをご覧ください▶▶▶



みみはら高砂クリニック

TEL 072-241-4990 FAX 072-241-4995

診療時間はHPからご確認ください▶▶▶



診療科 ※詳しくはHPをご覧ください

内科 小児科 健康サポート 整形外科 皮膚科 健診

午前 ▶ 9:00~11:30 (受付 内科 8:30~11:30)
午後 ▶ 13:30~16:00 (皮膚科 8:30~11:00)
夜間 ▶ 17:00~19:00(受付16:30~)

- 第5週(水)の夜診は休業となります。ご注意ください。診察開始は各受付時間より30分後となります。
- 2026年4月より小児科一般診は完全予約制となります。当日予約も可能ですので、事前にご予約の上、受診いただくをお願いします。

※小児科一般診、皮膚科はWEB予約が可能です。
詳しくはHPをご確認ください。



WEB予約ご利用はLINE登録が便利です。
友達追加の上でメニューをご確認ください。

LINE登録▶▶▶



耳原鳳クリニック

TEL 072-275-0801 FAX 072-273-0758

診療時間はHPからご確認ください▶▶▶



診療科 ※詳しくはHPをご覧ください

内科 小児科 ※専門外来 訪問診療

午前 ▶ 9:00~11:30(受付8:30~) 午後 ▶ 13:30~16:00(予約制)
夜間 ▶ 内科 18:00~19:00(受付17:00~)

- 予約のお電話は13時からお願いします。
- 小児科は、Webから診察予約できます。予約順が近づくとメールでお知らせします。
- 訪問診療を行っています。お気軽に相談ください。

※詳しくは、鳳クリニックホームページへ。



みみはら在宅クリニック

TEL 072-241-0691 FAX 072-280-1103

訪問診療のご相談はお気軽にお電話ください



月~金 ▶ 9:00~17:00 土 ▶ 9:00~12:00

- 日祝・年末年始(12/30~1/4)は休みです。
- 外来診療は、完全予約制です。

HPは
コチラ

耳原歯科診療所

TEL 072-245-2912 FAX 072-245-5732

診療時間はHPからご確認ください▶▶▶



午前 ▶ 9:00~12:00 午後 ▶ 13:30~16:30
夜間 ▶ 17:30~19:45

- 予約外での来院の際は、事前のご連絡をお願いします。

みみはらファミリークリニック

TEL 072-252-1507 FAX 072-253-3549

診療時間はHPからご確認ください▶▶▶



診療科 ※詳しくはHPをご覧ください

内科 小児科 訪問診療

午前 ▶ 9:00~11:30(受付8:30~)
夜間 ▶ 18:00~19:30(受付17:00~19:00)

- かぜ症状(発熱、咳、喉の痛み等)で受診を希望される方は、必ず事前にクリニックへお問い合わせください。
- 月曜日の14時より、小児科予防接種を実施しております。(完全予約制)
- 小児科午前診は、ワクチン予約は9時から、一般診療は10時以降となります。

「お金がないから…」と 受診をあきらめていませんか？

同仁会では「無料低額診療」を実施しています。
医療費でお困りの方は下記の事業所窓口にお問い合わせください。

- 耳原総合病院 ● みみはらファミリークリニック
- 耳原鳳クリニック ● みみはら高砂クリニック
- みみはら在宅クリニック ● 耳原歯科診療所

